



小木・直江津航路の活性化を

江口 修一（久比岐野）



問／小木・直江津航路へのカーフェリー就航の期待感と利用者増加に向けた取組みを聞きたい。

答／佐渡金山の世界遺産登録や北陸新幹線の敦賀延伸を控えた時期の就航は喜ばしい。様々な周遊プランを提案する等、当市の経済活性化につながる取組みに注力する。



スポーツによるまちづくりを検討すべき

問／自転車を活用したスポーツツーリズムの取組みを検討してはどうか。
答／ガイドマップの作成や動画配信等、周辺自治体と連携したサイクルツーリズム促進に取り組む。



行政DXとSDGsの推進を

問／行政DXの取組状況は。
答／様々な行政課題の解決のため、ICTの積極的活用を進めている。
問／SDGs 未来都市へ応募する考えはないか。



答／第7次総合計画に基づく政策・施策の推進がSDGsの目標達成に寄与する。環境・経済・社会の側面から総合的に推進し、SDGs 未来都市選定に向け、積極的にチャレンジしていく。



春日山の観光地化に向け民間提案の実現を！

小林 和孝（政新クラブ）



問／上越市埋蔵文化財センター内外の施設設備の整備や飲食施設を含む物産館や仮称春日山歴史博物館の新設等の民間からの提案は、市長懸念の春日山城の観光資源不足を補うものと考えているが、それらを実現する考えはないか。また、市長のビジョン・構想を示すべきではないか。

答／春日山城周辺は、大勢の方々が訪れる観光スポットであるにも関わらず、来訪者を受け入れる環境に課題があると考えている。このような中、これまでに受領した春日山保存整備促進協議会や上越商工会議所、上越観光コンベンション協会からの提言や要望には、謙信公やゆかりの人物などを紹介するとともに、食や物販が提供できる拠点施設の設置や駐車場、トイレの整備など恒久的な建造物の整備に関し、私の考える通年観光の構想と共通する部分が複数あると認識している。加えて第百回謙信公祭をはじめとする記念事業や新たなデジタル技術を使ったコンテンツの導入、インバウンドへの対応などと合わせて、義の精神を伝える取組みも実施したい。

私の構想については、今後も地域の皆様や観光事業者の方々と議論を重ねながら、春日山エリアの目指す姿や取組内容、スケジュールなどを整備計画としてまとめ上げ、市民に示していきたい。



米沢市上杉博物館



組織風土の改善を最優先すべきではないか

栗田 英明（政新クラブ）



問／中川市長は「職員に元気がない」と言ったようだが、その原因をどう分析しているか。

答／コミュニケーションの希薄化や活発な議論の不足、失敗を恐れずチャレンジすることのできない組織風土が課題ではないかと考える。

問／職員の意見調査の結果も「組織風土」が課題であるとの回答が最も多かった。人事改革プロジェクトでは、具体的な策が示されていないが、組織風土の改善を最優先事項として行うべきではないか。

答／人事改革プロジェクトでは、人事改革の方針を示している。組織風土の改善は、具体的な取組の積み重ねであると考えている。

問／新市長が誕生して、多くの職員は組織風土が変わるのではないかと期待している。今がチャンス、時間をかけずにやってほしい。
答／早急に取組案を示していきたい。

新たな組織体制が示されたが

問／令和3年12月定例会で、副市長4人制や政策諮問委員の予算は否決されたが、その後、状況の変化等はあったか。

答／山積する課題の解決や第7次総合計画策定を推進するために、4セクションに副市長をそれぞれ置き推進することが必要と考えている。政策アドバイザー制度導入も検討している。